

経営比較分析表（令和元年度決算）

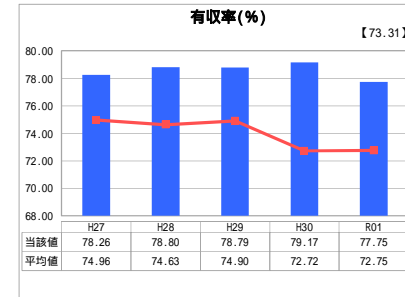
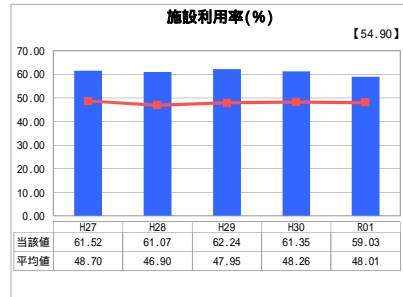
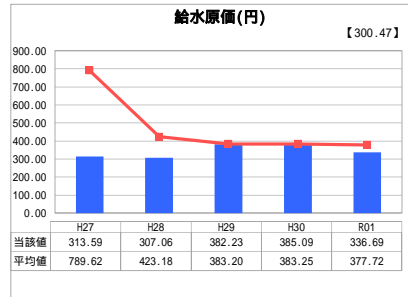
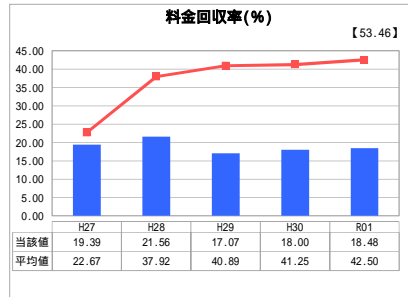
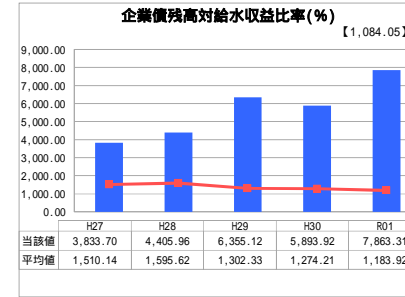
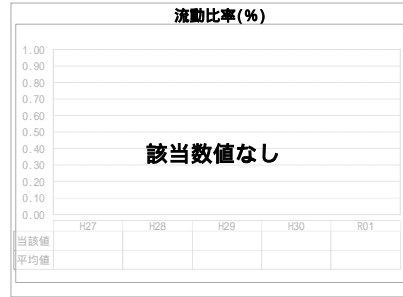
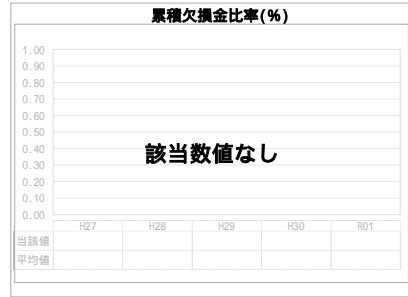
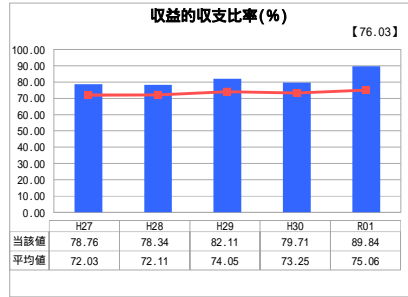
神奈川県 相模原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.27	2,685	

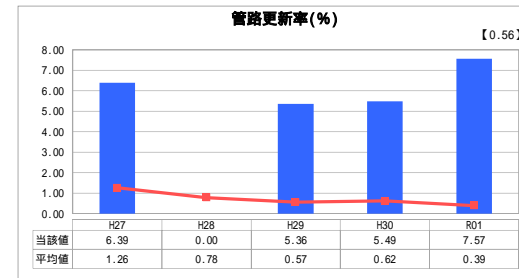
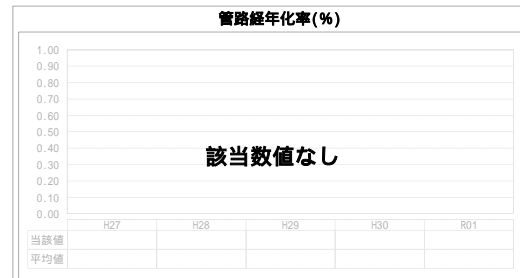
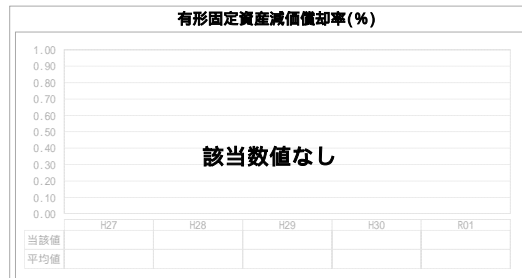
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
718,300	328.91	2,183.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,953	38.60	50.60

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の簡易水道事業は、飲料水の安定供給を目的として昭和46年度より供用を開始しました。計画給水人口は約2千人で、規模が非常に小さいため、効率化を進めるには限界がある状況です。また、その他地域のほとんどが県営水道により給水されており、料金も県営水道と同水準に設定していることから、類似団体より、収益的収支比率及び料金回収率が悪いという結果になっております。本事業については、大規模水道事業者と段階的な統合に向けて協議を行い、広域化を進める必要があると考えております。

2. 老朽化の状況について

令和元年度まで進めてきた簡易水道統合整備事業と合わせて管路を更新してきました。なお、簡易水道統合整備事業費については、国庫補助金と起債により賄われている状況の中であるため、起債残高が増加傾向にあります。また、平成15年に布設した管路については、大規模な更新までには約40年程度であることから、今後に向け計画的な更新を図っていきます。

全体総括

今後も事業運営は厳しい状況が見込まれる中、経営の健全化に取り組むとともに、市内同一料金の観点からも大規模水道事業者との統合に向けた段階的な取り組みを進める必要があります。